

平成二十四年度 入学試験問題（平成23年12月10日）

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

a「あつ」と心が揺れた。何かに感じることができた。

では、それをどう言葉にしてゆくか、が問題となる。心の揺れた場面から具体的に言葉を拾ったり、自分の思いを表す言葉を探したりしながら、なんとか（ a ）文字にしてみる……。歌をつくりはじめたころのことを思いだすと、そうやってできあがったものが、（ b ）短歌と呼べるのかどうか、はなはだ心もとなかった。

初めて作ったのは、手紙の歌だった。

手紙には愛あふれたりその愛は消印の日のそのときの愛

まさに「あつ」をそのまま言葉にしてしまった一首だ。大好きな人から手紙をもらって、嬉しいくせに「あ、でも、この言葉を彼が書いたのは昨日のことなんだわ」と気がついたら、bなんだかせつなくなってしまう。今はもう気が変わっているかもしれない、というような①猜疑心ではない。ただ、その時間のズレが、妙に引かなかったのだ。

「その」で受けているところがぎこちなかったり、「愛」なんて重たい言葉を一首のうちに三回も使ったり、なかなか初心者らしい歌である。こういう表現を多用すると、一人よがりで思い込み②カタの歌になりやすい。が、ビギナーズラックというのだろうか、普通だったらマイナスとなるその二点が、この歌では、（ c ）を生み出すのに一役買っている。

ここで、佐佐木幸綱が一九八八年に書いた「素人の時代」という文章が思い出される。短歌史的に見て、ここ百年は素人の時代である、という見方である。それは、素人が幅をきかせ、③玄人が肩身の狭い思いをしているという、というような意味においてではない。すでに玄人などいない、つまり、c現代において歌人と呼ばれるものはすべて素人である、という考えかたである。土屋文明しかり、与謝野鉄幹しかり、石川啄木しかり。私もあなたも素人短歌の時代の素人歌人以外ではない、という④シカクの重要性が、その文章が呼びかけられていた。

「歌はやればやるほど下手になる。それは昔からの私の自論だ」という土屋文明の言葉をひき「素人歌人から素人性が失われてゆくからだ、と私は理解して、なるほどと思ったのだった。もし玄人歌人ならば、絶対に続けるだけ下手になるなんていうことはありえないはずである」というくだりが、なかにあった。恐ろしい話である。

禪問答のようになってしまうけれど、ここでいうd「下手」とはつまり「上手」ということなのだ、と思う。

技巧あるいは技法のうえでの上手下手を、⑤便宜的に仮に「上手A」「下手A」としよう。そして人の心を揺さぶるという意味での上手下手を「上手B」「下手B」とする。かつてはこのABが一致していた。上手Aはイコール下手Bだった。それが必ずしも一致しなくなり、極論すれば逆になってきた、というのが「素人の時代」なのではないだろうか。

「歌はやればやるほど下手になる」とは（ d ）、e「歌はやればやるほど上手Aになり下手Bになる」と読めるのである。

また、こういう言い方もできるだろう。上手Aよりも上手Bが歓迎され、下手Aであっても上手Bであればよいのが、素人の時代なのだ、と。

上手Aになるために、昔の人は長い時間をかけて修行した。「⑥クセツ何年」というやつである。今は上手Aでなくても、かまわない。これはf「見らくちんそうに見える。が、あくまで「一見」である。

やればやるほど下手になるとわかっていながら、やりつづけるしかない、という苦しみを、今日の、そして明日の歌人は背負わなければならないのかもしれない。

その苦しみの例は、たとえば与謝野晶子の足跡にも見て取れるだろう。g『みだれ髪』には、文法的には⑦曖昧な点が多く、ときには明らかな間違いもある。が、情熱と雰囲気⑧アットウしてしまい、読者を酔わせて納得させてしまう力が、この詩集にはあった。『みだれ髪』以降の晶子は、どんどん上手Aになり、だんだん（ 一 ）になっていったように見える。つぎつぎに生み出された十数冊の歌集の名前を全部言える人は、それほど多くないだろう。が、それでも彼女はがんばり続け、最後には『白桜集』という上手Aにして（ 二 ）の歌集を残した。若くしてあつという間に「明星」のスターとなってしまった晶子。彼女が最終歌集にいたるまでの苦しみは、「素人の時代」を生きる歌人が、h時代から受ける復讐のようにも思われる。

俵万智「素人の時代の歌人」より

心もとない：頼りなく不安である。

カタ：数がありすぎてしまうこと。

ビギナーズラック：初心者に伴う幸運のこと。

佐佐木幸綱（一九三八～）：歌人。筆者俵万智が師事している。

土屋文明（一八九〇～一九九〇）：歌人。伊藤左千夫に師事し、アララギ派の代表歌人となる。

与謝野鉄幹（一八七三～一九三五）：歌人。明治三十三年に雑誌「明星」を創刊。

石川啄木（一八八六～一九一三）：歌人。歌集に『一握の砂』『悲しき玩具』がある。

禅問答：禅宗の僧が修行のため行う問答。広義には、真意のつかみにくい問答やとぼけた受け答えをいう。

与謝野晶子（一八七八～一九四二）：歌人。代表歌集に『みだれ髪』『白桜集』がある。

問一、傍線部②④、⑥⑧のカタカナを漢字にし、漢字を読むとき、正しいものをそれぞれ選びなさい。

（②：解答番号1、③：解答番号2、④：解答番号3、⑥：解答番号4、⑦：解答番号5、⑧：解答番号6）

② カタ

1、過他

2、過多

3、化多

4、価汰

③ 玄人

1、げんじん

2、げんと

3、くろうど

4、くろうと

④ ジカク

1、自覚

2、時覚

3、地覚

4、辞覚

⑥ クセツ

1、駆切

2、句節

3、苦拙

4、苦節

⑦ 曖昧

1、まいまい

2、あいまい

3、まいみ

4、あいみ

⑧ アットウ

1、厚倒

2、篤倒

3、圧倒

4、熱倒

問二、傍線部①・⑤の言葉の意味として適当なものを一つ選びなさい。

（①：解答番号7、⑤：解答番号8）

① 猜疑心

1、疑い始めるときりがないこと。

2、さげすみ、うたがうこと。

⑤ 便宜的

1、一時的な、仮のものということ。

4、必要以上の世話を焼いてしまうこと。

⑤ 便宜的

1、一時的な、仮のものということ。

2、便意で、うまく役立つこと。

3、都合のよいように省略すること。

問三、（a）に入る数字を選びなさい。

（解答番号9）

1、十七 2、二十七 3、三十一 4、四十一

問四、（b）（d）に入る最も適当な言葉を、それぞれ次から選びなさい。

（b：解答番号10、d：解答番号11）

1、しかし 2、つまり 3、まして 4、はたして 5、たとえば

問五、（c）に入る最も適当な言葉を次から選びなさい。

（解答番号12）

1、アクセント 2、力強さ 3、緩急 4、リズム

問六、波線部a「あつ」は「手紙には……」の短歌のどの部分に当てはまるか、次から選びなさい。

（解答番号13）

1、手紙には愛あふれたり

2、愛あふれたりその愛は

3、その愛は消印の日のそのときの愛

4、そのときの愛

問七、波線部bの「せつなくな」る理由は何か、最も適当なものを次から一つ選びなさい。

（解答番号14）

1、彼が手紙を書いた日と消印の日付が一致していないと気づいたから。

2、彼が手紙を書いたときの気持ちと今の気持ちの変化を知りたいと思ったから。

3、彼が手紙を書いているときに自分は彼のことを思っていないかったから。

4、彼が自分を思っ手紙を書いているそのときの時間を共有したかったから。

問八、波線部cとはどういうことか、説明として最も適当なものを次から選びなさい。

（解答番号15）

1、現代では、新鮮さが最も求められるので、熟練し練り込まれた歌を詠む歌人は好まれないということ。

2、現代では、技巧だけでなく人の心も揺さぶることも上手な玄人歌人はいないということ。

3、現代では、歌で食べていくことができないので、職業を歌人とする人はいなくなったということ。

4、現代では、人の心を揺さぶる歌が詠めれば技巧は必要ないので、玄人歌人は育たなくなったということ。

問九、波線部dとはどういうことか、説明として最も適当なものを次から一つ選びなさい。

（解答番号16）

1、人の心を揺さぶるという意味では下手だが、技巧的には上手だということ。

2、人の心を揺さぶるという意味では上手だが、技巧的には下手だということ。

3、人の心を揺さぶることも技巧的にも上手だということ。

4、人の心を揺さぶることも技巧的にも下手だということ。

問十、波線部eとあるが、その理由は何か。最も適当なものを次の中から一つ選びなさい。

（解答番号17）

1、歌をたくさん作ると、他人の作った歌に似てきて個性や独自性が無くなるから。

2、歌をたくさん作ると、同じような内容になって、新鮮さや斬新さが無くなるから。

3、技術的に上手になると、十分な心の葛藤のないまま言葉が簡単にできてしまうから。

4、技術的に上手になると、それだけで評価してもらえるようになるので努力を怠るようになるから。

問十一、波線部 f とあるが、「あくまで『一見』である」理由は何か、最も適当なものを次から一つ選びなさい。（解答番号 18）

- 1、上手 A でなくても上手 B と認められるためには、他の歌人よりも優れた歌を作る必要があるから。
- 2、上手 A でなくても上手 B であり続けるには、自分のモチーフを深めていかななくてはならないから。
- 3、先に上手 B と世間で認められると、次は上手 A にならないと自分自身満足できなくなるから。
- 4、上手 B となる方が、上手 A となるよりも実際には長い時間をかけ修行しなければならないから。

問十二、波線部 g 「『みだれ髪』」を表すのに適当な言葉はどれか。次から二つ選びなさい。ただし、選択肢番号の若い方から順に選択すること。（解答番号 19・20）

- 1、上手 A 2、上手 B 3、下手 A 4、下手 B

問十三、（ Ⅰ ）（ Ⅱ ）に入る最も適当な言葉をそれぞれ次から選びなさい。（Ⅰ…解答番号 21、Ⅱ…解答番号 22）

- 1、上手 A 2、上手 B 3、下手 A 4、下手 B

問十四、波線部 h 「時代から受ける復讐」を説明したものとして最も適当なものを選びなさい。（解答番号 23）

- 1、技巧的には拙くても、人の心を揺さぶる歌を作るのはビギナーズラック以外には難しいこと。
- 2、一度人の心を揺さぶると揺さぶり続けなければ歌人として認められないため、苦しむこと。
- 3、時代によって歌に求められるものが違うので、長く携わるほど対応に困ること。
- 4、人の心を揺さぶり、技巧的にも優れた歌を作り続けなければならないために苦しむこと。

二、24 ～ 30 について、空欄に入れるのに最も適当なものをそれぞれ選びなさい。

- 24 （ ） 中模索の状態。 1、案 2、暗 3、安 4、闇
- 25 意味（ ） 長な言葉。 1、深 2、新 3、真 4、心
- 26 （ ） 実剛健の校風。 1、室 2、失 3、質 4、疾
- 27 以心（ ） 心の間柄。 1、伝 2、田 3、電 4、殿
- 28 臨（ ） 応変の処置。 1、季 2、基 3、気 4、機
- 29 起死（ ） 生の一騎打ち。 1、回 2、解 3、開 4、快
- 30 絶（ ） 絶命の窮地。 1、対 2、態 3、体 4、耐

三、31 ～ 36 について、空欄に入れるのに最も適当なものをそれぞれ選びなさい。

我が国最初の仮名で書かれた日記の題名は（ 31 ）、作者は、（ 32 ）である。この作品は、（ 33 ）として書かれており、その特色は、（ 34 ）という点にある。また作者は、（ 35 ）の選者でもあり、その巻頭に書いたとされる（ 36 ）は和歌の理念を著したものとして名高い。

- 31 1、十六夜日記 2、土佐日記 3、更級日記 4、明月記
- 32 1、菅原孝標女 2、阿仏尼 3、藤原定家 4、紀貫之
- 33 1、出家した後に関自分の人生を振り返ってみる回想
- 2、時間的経過とともに日を追って執筆した記録
- 3、かつての激しい恋愛とその挫折を記した回顧
- 4、任地から都へ帰る途中の記録を書いた日記
- 34 1、現実の出来事を誇張し、非現実であるかのように装う手法を用いている
- 2、芸術論として高生に影響を与えたほど非常に優れている
- 3、男性の作者が女性に仮託している
- 4、年老いた自分を若かりしころの自分に喩えている
- 35 1、古今和歌集 2、拾遺和歌集 3、山家集 4、新古今和歌集
- 36 1、本歌取り 2、仮名序 3、長歌 4、擬古文

四、37 ～ 40 について、敬語の用法の正しいものをそれぞれ選びなさい。

- 37 青木様が 【 1、お見えになりました。 2、お見えになられました。 】
- 38 明日は 【 1、休ませていただきます。 2、お休みさせていただきます。 】
- 39 右側の窓口で 【 1、うかがってください。 2、お聞きになってください。 】
- 40 ただいま社長は席を 【 1、外しております。 2、外しておられます。 】